

38 小児食物アレルギー負荷検査算定件数

指標の解説

- 食物アレルギーを持つ小児がどこまで食べることができるかを判定する負荷試験は、給食などで誤ってアレルギーの原因となる食物を食べてしまう事故を防ぐために重要なものである。
- 当該検査を多く行っていれば、小児医療の質の向上に貢献していると評価できる。

